愛鷹競技場　照明改修の展望と
クラブの成長ビジョンについて

愛鷹競技場
照明改修　展望

1 【昨年秋】 愛鷹照明改修のネックになっていた
技術的な課題にめどがついたことで

ようやく対外的な行動に乗り出せることに

2 【昨年12月17日】 2021シーズン報告会で問題報告

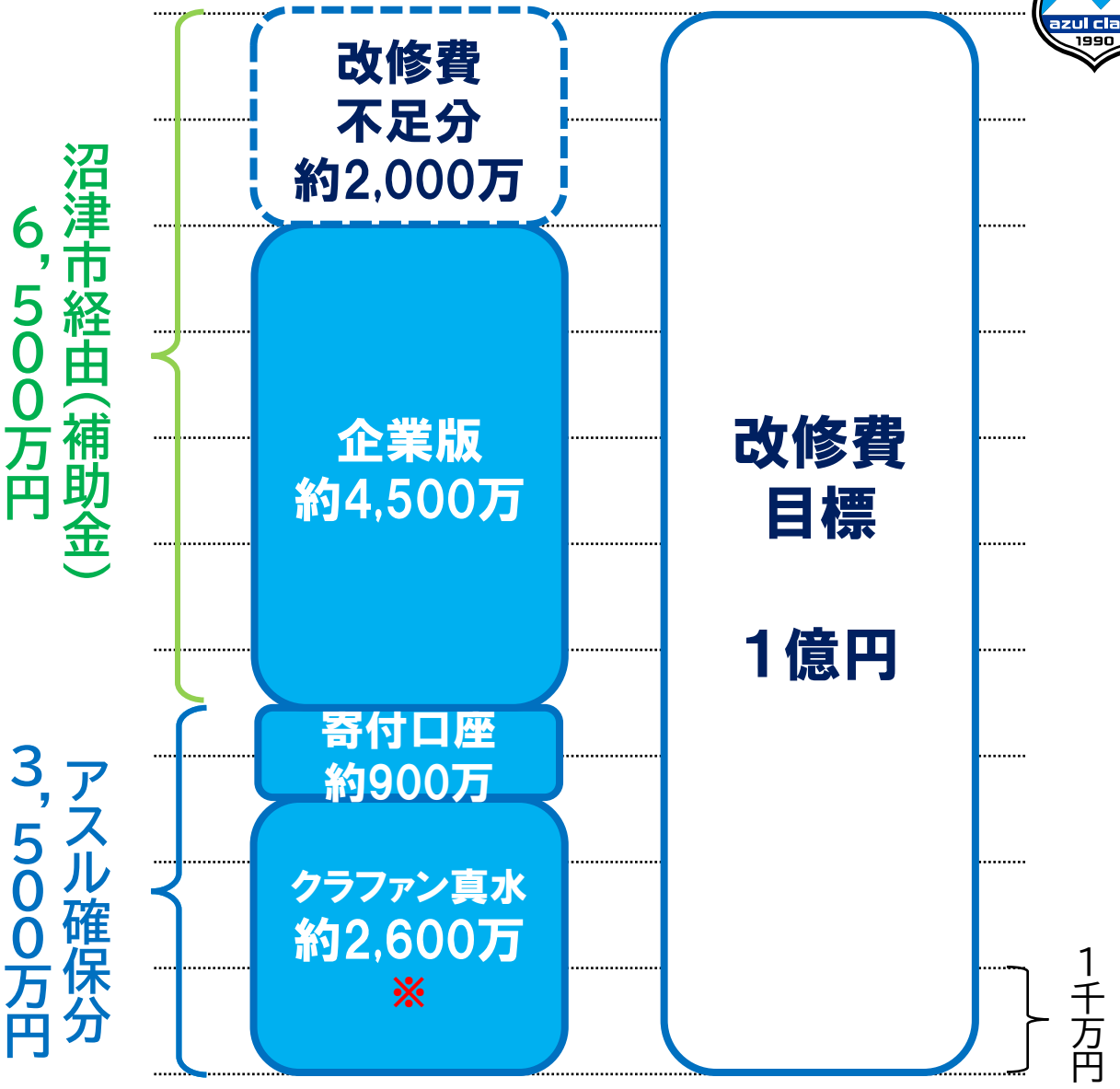
2023シーズンのJライセンスを死守するため、
改修費1億円を集めて年内に改修する！

3 【2月3日】 ①クラウドファンディング開始

4 同時に、②沼津市企業版ふるさと納税での法人寄付と
③寄付口座への寄付の呼びかけ

資金の状況

改修費目標　1億円の
目途が立った



※クラファン4,000万円、経費35％で試算　35％＝10％サイト手数料、25％仕入れ・発送委託

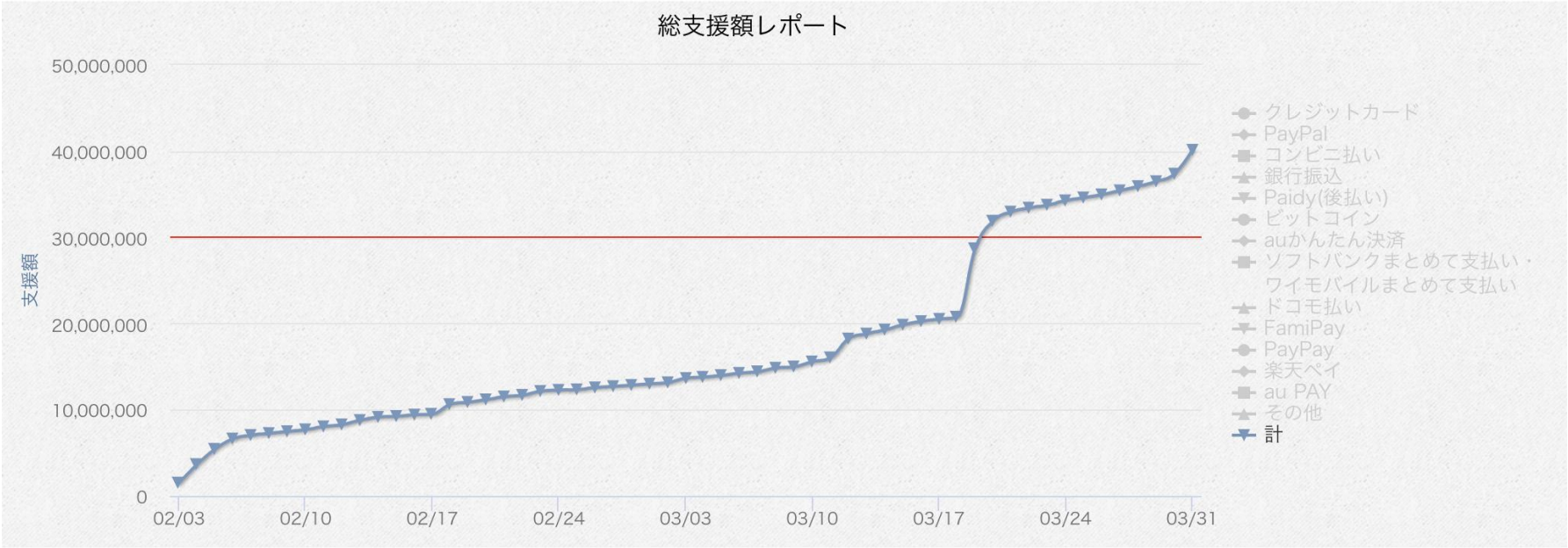
クラウドファンディング　管理者画面

開始日	終了日	終了日まで	現在の支援総額	達成率	支援者	お気に入り	SUCCESS日時
2022/02/03	2022/03/31 23:59	終了	40,140,153円	133%	2254人	397人	2022-03-20 11:44:52

インサイト

インサイトとは？

総支援額 | 日別PV | 参照元別PV | 男女別の支援割合 | 年代別の支援者数



愛鷹競技場　照明改修工事スケジュール見通し

2022年1月
事業者決定

①公募入札

施工会社と契約

②設計・シミュレーション

6月

③
改修内容内諾
静岡県・Jリーグ

③改修資金調達目途

・2要件をクリア、施工手続きへ
・翌シーズンのJライセンス申請

施工手続

⑥県の設計承認
工事許可

都市公園法「公園施設設置許可」

④補助申請
⑤施工契約

7～8月

⑦施工

10月
全投光器330台をLED化

⑧譲渡
J・県の確認

12月

アスルクラロ・受注者

静岡県・Jリーグ

愛鷹競技場は、築20年以上の大型施設
調査が必要な項目が多岐に渡り、技術的課題も浮上

【2017～18年】 改修できるか不明だったため全体調査（沼津市委託）
【2020年】 照明・諸室に絞って調査（沼津市委託）

大判の紙図面から数字を拾い電子図面化、ソフトでシミュレーション

【技術的な課題】

① 改修が可能か・耐えうるか、劣化状態の把握
- 重量物の乗せ換えによる建物屋根への影響・安全性シミュレーション
- 配線の劣化、電気設備容量など（そのまま使えるかが工法・費用に直結）

② Jリーグ以外の基準との調整（陸上基準・JIS基準等）

リフォームは大変

③ 現実的な工期や金額の範囲か

重機の進入、例年の他競技大会への影響を抑えた最適な工期
（工法・工期により費用に影響）

④ 改修後の電気使用量・電気料金のシミュレーション

2021年秋に技術課題に目途が立ち、県の公表内諾を得て改修方針をようやく公表できた

クラブビジョン＆アクション

アスルクラロ　クラブアイデンティティ　＆　ヒストリー

AZUL CLARO
未来へ続くクラブ
アイデンティティ

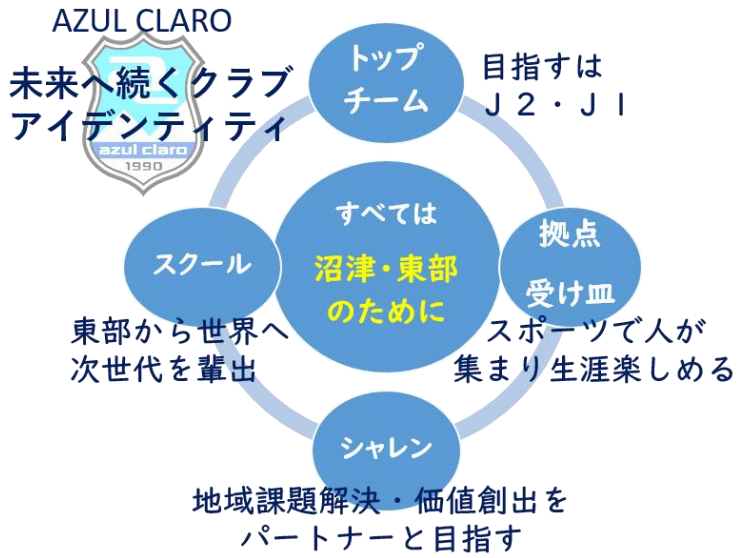
1990年、サッカー教室から始まり2022
年法人設立30周年
2017年・県東部唯一のJリーグクラブに

サッカー、テニス、新体操、チア、陸上、
フェンシング等スクールを展開する
「総合型地域スポーツクラブ」

現在、スポンサーパートナー
企業様等500社以上、
スクール会員約1600名

30年以上の活動で約2万人以上の
スクール生等を輩出し、ご家族含め
大きなネットワークに成長

アスルクラロ　中長期・成長ビジョン　～Our Value to Society・価値の拡大～



クラブアイデンティティの
各要素を大きくしていく
過程

アスルのクラブ成長ビジョン

2023以降の展開のため、ホーム愛鷹の照明を改修

2023

20XX年
新スタ

10～20年後

- 地域に欠かせない存在として支えられる真の市民クラブ
- まちなかスタジアムが、賑わい・交流・生活の受け皿に＝まちのいち機能に
- J2以上をキープ、東部人材を世界へ
- 年間経営規模：J2平均15億円

平日商業と休日ホーム戦
⇒日常と非日常がまちなかに

アスルクラロ　短期チャレンジマップ　～クラブを成長させる企画取組・アクションの見取り図～

2022.6末　　23.2　　24.2

見える化
企画別に
進行管理

⑩東部周遊観戦ツアー試行
・ビジター客の見込める試合
・外国籍選手活用 インバウンドツアー

⑪地域スポーツクラブ 公開勉強会
「部活のフォローや生涯スポーツ・レクレーションの場や仕組みが各所にある」を目指した地域別潮流づくり

人と企業、地域のハブに

⑨パートナー企業コラボ企画 定期実施　・ホーム戦交流会・ゴルフコンペなどの交流
・6/26フットサル大会開催　・アウェイ戦パブリックビューイング　・IUJターン会社見学・職業体験会

①クラブ方針発表 6.29
・愛鷹改修方針
・クラブビジョン
・チャレンジマップ

⑧Jリーグ社会連携活動（シャレン）を通じた社会価値創出・課題解決
・パートナー企業拡大、活動や成果の見える化　・重点分野：地域防災、障がい者スポーツ受け皿づくり、環境保全など

④オールブループロジェクト
「今週末はホームゲーム！」とわかるよう賛同企業・団体がホームゲーム週に青いシャツで業務

②マスコット誕生企画・始動

⑤ファンミーティング　定期開催

③サポートスタッフ参加特典企画
参加する楽しみを共有できる企画の検討実施

⑥アスルオリジナル　選手育成プログラム
・セルフマネジメント＆ブランディングトレーニング　・若手選手に選ばれるクラブ

⑦チームバス確保
クラブラッピングバスによる選手を鼓舞＆パートナースポンサーPR

参加型クラブ
→真の市民クラブに

社会価値増加
クラブ価値増加

チャレンジマップは事業計画書ではなく、クラブがイメージする挑戦＆検討ステップを表明する資料です

「チャレンジマップ」 作成の意図

- 「チャレンジマップ」は、事業計画書ではなく、作成時点でクラブがイメージする挑戦＆検討ステップを表明する資料
- 多方面からの参画を誘発できるような、わくわくするものを目指しながら、クラブ内での企画別進行管理を行い一つずつ夢を実現
- 節目で更新し、ファン・サポーター・会員の皆様、地域の皆様、企業や行政の皆様とのコミュニケーションツールになっていくもの
- 2017～18年「静岡県東部地域サッカースタジアム構想連絡会」以降、愛鷹競技場照明改修の技術課題検討や調整の間、現状報告やステップを示してこなかった部分を反省
- 多方面から大きなご期待をいただき、「いいことをしているのにもったいない」というご指摘もある中、してきたこと・していくことを見える化する責務

クラウドファンディング等、今回のプロジェクトでの発信により、コラボ企画の実現や、新たなパートナースポンサー様や提携先も現れている

【6月17日リリース　コンプライアンス違反案件】

- 3月下旬（19人）、5月初旬（10人）、スクールコーチ中心の歓送迎会

- クラブ内基準、「飲食は2人まで」を大きく上回る人数での飲酒会食行為であり、事態の重大性から調査の終わった4人を自宅謹慎等の懲戒処分とした

- 全関与者の調査・処分が決まり次第、改めて公表する方針

【対策】

- 6月28日、外部講師による全スタッフ・コンプライアンス研修を実施

- 本件を通じ、クラブ全部門にガバナンスが効いていなかった点、全容把握に時間がかかり、公表が遅くなってしまった点を反省

- 今後月一回以上の研修を開催し、知識だけでなくモチベーション向上により風土を改善し、コミットメントやガバナンス向上につなげる
（自分事となっているか・一丸となっているか、即応できる組織体制か）

資料編

■ 愛鷹スタジアム問題

1. 愛鷹競技場ではJ2基準「座席全面を覆う屋根」が必須だが、非現実的

2. J2ライセンス取得には、「クラブによる新スタジアムを作る約束」と引き換えに暫定的にJ2ライセンスを取得できる「例外規定2」を使うしかない

3. 例外規定2を適用すると、観客席・映像装置・屋根の改修は免除されるが、照明・諸室・トイレの改修は必須

J2ライセンス取得　愛鷹改修項目	
①観客席	5,000席→8,000席以上
②映像装置	電光掲示板→大型映像装置 （県が実施予定）
③屋根	全ての観客席を覆う屋根
④照明	500ルクス→1,500ルクス以上
⑤諸室	ドーピングコントロール室・審判更衣室・医務室等の整備
⑥トイレ	トイレ洋式化・増設（県が実施済）

4. ただし
照明基準はJ3ライセンスであっても期限がある

2023シーズン
開始までの整備

■ スタジアム問題　愛鷹競技場改修　取組状況

- 施設所有者である静岡県様のご協力、2017年以降の沼津市様の大規模な専門調査にて技術的課題はこの秋、おおむねクリアしたところ

- Jリーグの照明基準1,500ルクスは、愛鷹競技場の想定している必要照度をはるかに超える水準

- 興行上必要とする当クラブにて照明を改修し、完成後は静岡県へ譲渡（近日中に受注者公募予定）

愛鷹照明改修費
1億円以上

■ スタジアム問題　J2ライセンス一例外規定2

① 毎年6月末の翌シーズンライセンス申請時に「上位基準を満たすスタジアムの建設」をクラブがJリーグに約束（申請時に主体や場所は問われない）

② 照明・諸室を翌シーズンまでに改修

→　J2ライセンスが暫定的に交付される

→　J3・2位以上で昇格した後、3年以内の建設計画提出、5年以内に完成しなければJ2ライセンス喪失

【Jリーグクラブライセンス】
- まず『J3定着』　～チャレンジマップ～
- 『新スタ候補地目途』で例外規定2・J2申請
- トップチームが優先して使える練習場によりJ2を狙えるチーム力に

【まちの中のアスル】
- ホームゲーム会場
- 県東部周遊～富士山・海・狩野川・温泉～
- 人と企業、県東部地域のハブになり、ネットワークの強い社会に

【クラブの未来像・あり方】
- 誰でも参加できる『参加型クラブ』　⇒　真の市民クラブ
- 選手に選ばれるプログラムを備えた『育成型クラブ』
  ～人間的魅力・セルフマネジメント・セルフプロモーション・セルフブランディング～
- スポーツ庁に登録されている『総合型地域スポーツクラブ』として
  ～障がいの有無・年齢を問わないスポーツ＆レクレーションの場を創出～

【実現のために】
- 『愛鷹照明改修をターニングポイント』とする
- 具体的な検討サイクル＆企画別進行管理により『一つ一つ夢を実現』
- 『可視化・見える化』　～チャレンジの提示と参画の誘発、節目での社会的報告～